

# みえ県議会だより

NO. 180

令和2年  
(2020年)  
12月1日



なご 長太の大楠 (県指定天然記念物・鈴鹿市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL http://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



## ～県民の安全・安心を守り抜き経済の再活性化をめざす補正予算などについて議論～

### 令和2年三重県議会定例会 9月定例会月会議

「命」と「経済」の両立をめざす『みえモデル』に基づく取り組みや新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業の見直しなどについて議論しました。

#### 本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアル検討プロジェクト会議を開催、戦略企画雇用経済常任委員会県内調査を実施
- 2～3面 代表質問、一般質問
- 4面 一般質問、用語解説、意見書を国へ提出、2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」投票開始のお知らせ、三重県産材利用促進に関する条例検討会を開催、選挙区及び定数に関する在り方調査会を開催、三重県議会定例会今後の日程(予定)、議員の辞職等について

#### 審議結果

##### 可決した議案

- 令和2年度三重県一般会計補正予算(第7号)
  - ：県立学校における感染防止対策やサプライチェーンの強靱化への支援、スマート自治体の推進等に係る補正予算約105億円

##### 採択した請願

- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めることについて
- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関する制度の拡充を求めることについて
- 防災対策の充実を求めることについて
- 全国に先駆けた三重県独自の学級編制基準の導入により、誰一人取り残さない、すべての子どもたちが大切にされる安心・安全の三重の教育の実現を求めることについて

##### 認定した企業会計決算

- 令和元年度三重県水道事業決算
- 令和元年度三重県工業用水道事業決算
- 令和元年度三重県電気事業決算
- 令和元年度三重県病院事業決算

##### 不採択とした請願

- 県内すべての医科・歯科医療機関に対する財政措置を講じることを求めることについて
- 25人下限条件をなくし、真の30人学級実現を求めることについて

##### 可決した意見書案

- 防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書案
- 子どもの貧困対策の推進と就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書案
- 学校における防災対策の充実を求める意見書案
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書案
- 子どもたちの豊かな学びを保障するための教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を求める意見書案
- 地方公共団体が新型コロナウイルス感染症に対応するための財政支援措置の充実及び強化を求める意見書案

## 審議結果と主な開催実績

- 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況に置かれている旅館・ホテル事業者への支援等を求める意見書案
  - ドクターヘリの安定的かつ持続的な運用への支援強化を求める意見書案
  - 災害救助法における福祉の位置付けの明確化を求める意見書案
- ※議案の概要、議員別の賛否等の状況や請願・意見書の内容などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

#### 主な開催実績

- 9月
    - 17日 本会議
      - 議案20件上程、認定議案4件上程
      - 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会参考人の出席要求
      - 本会議
      - 議案に関する質疑(3人)、意見書案1件上程・可決
      - 医療保健子ども福祉病院常任委員会参考人からの意見聴取等
    - 28日 本会議
      - 一般質問(4人)
    - 30日 本会議
      - 一般質問(5人)
  - 10月
    - 2日 本会議
      - 一般質問(4人)
      - 予算決算常任委員会
      - 議案の審査
      - 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会参考人からの意見聴取
      - 他
    - 7日～9日、12日 各常任委員会・分科会
      - 議案の審査、所管事項の調査等
      - 参考人からの意見聴取
      - 他
    - 14日 差別解消を目指す条例検討調査特別委員会
      - 参考人からの意見聴取
      - 他
    - 15日 予算決算常任委員会
      - 議案の審査
    - 16日 本会議
      - 代表質問(4人)
    - 19日 本会議
      - 議案20件可決、認定議案4件認定、請願5件採択、2件不採択、意見書案8件上程・可決、人事同意議案1件上程・同意、認定議案13件上程
      - 予算決算常任委員会
      - 議案の審査(一般会計、特別会計決算)
- ※この他にも、議会運営委員会、代表者会議、広聴広報会議、全員協議会、議案聴取会、委員長会議など、さまざまな会議を開催しました。
- ※議員の各質問は、2ページ以降に掲載しています。

本会議等はインターネット中継や録画配信でもご覧いただけます。

## 新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアル検討プロジェクト会議を開催

当会議は、8月19日の議会改革推進会議において設置することが決定され、議会における新型コロナウイルス感染症に関する対応マニュアルの検討を行っています。

8月28日に第1回の会議を開催し、正副座長の確認、会議の運営や今後の進め方等について決定しました。

9月24日の会議では、これまでの新型コロナウイルス感染症への対応について検証を行いました。

10月5日の会議では、マニュアルに関する各派の意見が報告されたほか、参集が困難な場合でも委員会を開催できるようにするため、三重県議会委員会条例の一部改正を並行して検討することを決定しました。

10月15日の会議では、正副座長から、マニュアル素案及び三重県議会委員会条例の一部改正(素案)が提示されました。

10月22日の会議では、マニュアルの内容について検討を行うとともに、三重県議会委員会条例の一部改正(素案)を決定しました。



会議(10月15日)の様子

## 戦略企画雇用経済常任委員会 県内調査を実施

当委員会では、県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて審査・調査しています。

9月1日、四日市商工会議所で、新型コロナウイルス感染症が県内のさまざまな業種に与えている影響等について調査した後、大台町で、ワーケーションの受け入れ実績がある法人等から調査を行いました。

また、9月2日には紀宝町で、昨年度全国広報コンクールで受賞した広報誌について調査した後、6月に開所した御浜町の広域観光案内所・七里御浜ツーリストインフォメーションセンターと今秋開業のフェアフィールド・バイ・マリオット三重御浜で、道の駅を中心とした地域経済の活性化を目指す取り組みについて調査しました。



フェアフィールド・バイ・マリオット三重御浜での調査の様子



文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しています。

### 代表質問

#### 電気事業会計減資繰り入れについて

**三谷 哲央 議員**  
(新政みえ)  
桑名市・桑名郡選出



**問** 今回の9月定例会月会議において、知事より、企業庁電気事業会計の資本金の額の減少から生じる資金58億円を、コロナ禍に打ち克つ勇氣と希望を与えてくれる三重とこわか国体・大会の開催費用に活用したいという説明がありました。しかし、117億円といわれている国体関係費用のうち、県の積立金は18.6億円です。コロナ禍であろうとなかろうと電気事業会計の減資分は大会開催費用に充てる予定だったと思いますが、いかがですか。

**答** 平成30年11月定例会月会議でも、企業庁が水力発電事業を譲渡したことで生じた差額金を活用し、両大会の成功に向けて万全の準備に取り組みの説明を行っております。県民の皆さんとオール三重で開催準備に取り組み、両大会の成功に向けて電気事業会計の資本金の減少から生じる資金の全額を、両大会の開催費用等に活用させていただきたいことをお願いしている点で、両方の説明に食い違いはありません。



三重とこわか国体・三重とこわか大会 マスコットキャラクターとこまる

**その他の質問事項**  
○知事の政治姿勢について  
○令和3年度三重県経営方針(案)について  
ほか



▲代表質問 (三谷哲央 議員)

#### 誰一人取り残さない ひきこもり支援を

**津田 健児 議員**  
(自由民主党県議団)  
四日市市選出



**問** 私は、誰にも知られることなく行政サービスの間で苦しんでいる人がいることを意識して、ひきこもり支援が行われるよう、三重県地域福祉支援計画等の策定の際、「誰一人取り残さない」という文言を加えるようお願いをしてきました。誰一人取り残さないひきこもり支援を行うには、「ひきこもりの実態調査の実施」、「ひきこもりに特化した推進計画の策定」、「推進体制の整備」が必要だと思えますが、知事の考えをお聞かせください。

**答** 県は昨年度、三重県地域福祉支援計画を策定し、側面的支援と専門的支援の両輪でひきこもり支援を行っています。コロナ禍において支援の更なる強化が必要と考え、令和3年度にひきこもりに特化した新たな推進計画を策定します。また、ひきこもりの実態調査を行うとともに推進体制についても検討し、従来の県のスタンスを一步も二歩も前に進める覚悟で取り組んでいきます。



**その他の質問事項**  
○知事の政治姿勢について  
○三重県広域緑地計画について  
ほか



▲代表質問 (津田健児 議員)

#### 国土強靱化対策について

**谷川 孝栄 議員**  
(草莽)  
熊野市・南牟婁郡選出



**問** 国土強靱化対策を論じる上で、道路は、防災・減災という観点からもまさしく背骨となる部分です。特に高速道路や高速度道路と市街地・観光地を結ぶアクセス道路は、災害時に避難路にまた、場合によっては避難場所にもなり、救命活動や復旧活動を支えるという意味においても、早急に整備を進めていかなければならないと考えます。国土強靱化対策としての道路整備について、県の考えをお聞かせください。

**答** 国土強靱化に資する道路整備については、頻発化・激甚化する災害から復旧・復興するため、橋梁耐震対策や法面対策等の局所対策とともに、発災直後から救急車両等の通行を確保できる強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築が急務です。このため、県としましては、「命の道」である紀勢線をはじめ、高速道路の早期実現、そしてそれらの幹線道路ネットワークと市街地・観光地等の主要拠点を結ぶアクセス道路の整備を加速していきます。



**その他の質問事項**  
○不妊に悩む方への支援について  
○乳がんの早期発見と不安の解消について  
ほか



▲代表質問 (谷川孝栄 議員)

#### 農林水産物の消費拡大について

**野村 保夫 議員**  
(自民党)  
鳥羽市選出



**問** 新型コロナウイルス感染症の影響は外食産業などでも及んでいます。イセエビやトロさわらなど秋から冬の旬を迎える三重県の食材は多く、新型コロナウイルスの感染が再び拡大して外食産業が営業自粛等になるようなことがあれば、農林水産業に大きな打撃を与えることになりそうです。そこで、外食等の需要減退への対応として、これまでに実施した取り組みの成果と秋以降に実施する新たな取り組みについてお聞かせください。

**答** 県はこれまで、県産食材の消費拡大を図るため、販売促進活動や新商品開発など、関係者と連携したさまざまな取り組みを行ってきましたが、生産者の間には感染拡大の再発による外食需要減退等への懸念があります。このため、旬の県産食材や高級食材の消費拡大、地産地消の定着を図る「みえの旬が一番」食べてお得なキャンペーンを展開するなど、今後も関係機関と連携し、三重が誇る自慢の農林水産物の持続可能な消費拡大に取り組んでいきます。



イセエビ 答志島トロさわら

**その他の質問事項**  
○太平洋・島サミットについて  
○コロナ禍の漁協支援について  
ほか



▲代表質問 (野村保夫 議員)

### 一般質問

#### 高齢者が生き生き元気に暮らせる対策について

**中瀬 信之 議員**  
(新政みえ)  
度会郡選出



**問** コロナ禍の中、多くの高齢者が極端に外出を控えるようになりました。活動的な生活や社会参加の機会を失うと、体が衰え、介護が必要になる時期を早める恐れがあるほか、認知症につながることも心配されます。また、病院へ行く機会も減っているため、病気が重症化することも危惧されます。そこで、高齢者が孤立・孤独化している現状への県の認識と対策をお聞かせください。

**答** 県としても、高齢者の閉じこもりの増加や認知症への影響などを懸念しており、高齢者の生活支援サービスの充実を図る市町の取り組みへの支援や、さまざまな認知症施策を継続して実施してまいります。今後も高齢者が健康で生きがいを持って生活できるよう市町と連携し、しっかりと支援していきます。



**その他の質問事項**  
○災害対策について  
○三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催について  
ほか



▲一般質問 (中瀬信之 議員)

#### 人によさしい道路空間の有効活用について

**青木 謙順 議員**  
(自由民主党県議団)  
津市選出



**問** これからのウィズコロナと言われる社会で、「大都市一極集中」から「分散型の都市構造」へと変革していくには、地方都市の主要駅周辺を「人々が笑顔で行きかう、利便性に富み、人に優しい空間」として整備することが重要で、地域活性化に繋がるものと考えます。駅周辺空間の整備、特に今後検討が進められる津駅周辺の整備について、知事の考えや思いをお聞かせください。

**答** 駅周辺整備は、魅力ある地域づくりや地方創生を進めるうえで重要であり、積極的に支援していきたいと考えています。津駅周辺は、県都津の玄関口であり、地域が持つポテンシャルを発掘していくことで、地域が発展し、賑わいを創り出し、人によさしい道路空間を創出できるものと大いに期待しています。



**その他の質問事項**  
○農林業の振興について  
○地域における「1重層的支援体制」の整備について  
ほか

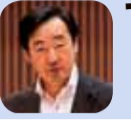


▲一般質問 (青木謙順 議員)



### リニア中央新幹線の全線開業に向けて

長田 隆尚 議員  
(草莽派)  
亀山市選出



**問** 本年7月に開催された「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会総会」において、2037年の東京・大阪間全線開業を目指し、三重県中間駅の候補地選定に向けた作業に着手するという方針が示されました。今後、三重県中間駅の位置決定に向け、具体的な進め方について、知事の考えをお聞かせください。

**答** 長年の悲願である県内駅位置の確定や全線開業に向け新たなステージに入ったところであり、今後、県期成同盟会において各市町と駅位置候補の検討を重ねていきます。来年度には候補地の地域特性などについて有識者に意見を伺いながら、2022年頃の県期成同盟会総会で駅位置候補にかかわる決議を行い、JR東海への要望につなげていきます。



### その他の質問事項

○中小企業・小規模企業の振興について

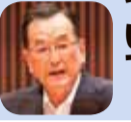
○CSF(豚熱)対策について



▲一般質問 (長田隆尚 議員)

### 県立水産高等学校の実習船「しろちどり」について

山本 教和 議員  
(自民党)  
志摩市選出



**問** 水産高校は明治35年に設立された県唯一の水産系職業高校です。この水産高校のシンボルである実習船「しろちどり」で乗船実習を受けた多くの卒業生が、水産業や海運業で活躍しています。この船は、地域に愛され、活躍してきましたが、建造以来20年が経過しており、生徒の生命を守る意味でも新造船に着手すべきと考えますが、知事の考えをお聞かせください。



県立水産高校の実習船「しろちどり」

**答** 本県の水産業を支えているのは人材であり、今後も人材育成を担う水産高校の果たす役割は重要であると考えています。生徒の安全を確保するとともに、最先端の航海技術を学び、世界に通用する人材を育成するため、早急に建造に向けた取り組みを進め、令和5年度末の竣工を目指してまいります。

### その他の質問事項

○三重の真珠の安定生産と魅力発信について

○薬局薬剤師について



▲一般質問 (山本教和 議員)

### 建設事業者等への不当要求の根絶を

稲森 稔尚 議員  
(草の根運動いが)  
伊賀市選出



**問** 県発注の公共工事を巡り、桑員河川漁業協同組合の組合長が恐喝容疑で逮捕されました。被害者の建設会社は県から漁業協同組合の組合長が恐喝容疑で逮捕されました。被害者の建設会社は県から漁業協同組合の組合長が恐喝容疑で逮捕されました。被害者の建設会社は県から漁業協同組合の組合長が恐喝容疑で逮捕されました。

**答** 本事件は発注者として重く受け止めており、今後このようなことがないよう建設事業者の皆さんの真に困っている声をお聞きし、実態把握に努めます。不当要求防止への取り組みは、警察の捜査の状況等を踏まえながら段階的に検討しており、発注者としての対応は早期にとりまとめ速やかに対策を講じていきます。



県発注の河川工事の様子

### その他の質問事項

○新型コロナウイルスの影響による生活困窮者支援について

○GS推進窓口にのあり方について



▲一般質問 (稲森稔尚 議員)

### 不登校の児童生徒を将来、ひきこもりの状態にしないために

中瀬古 初美 議員  
(新政みえ)  
松阪市選出



**問** 不登校の児童生徒を将来、ひきこもりの状態にしないためには、在学中から福祉機関や社会とつなぐ役割にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーによる支援が有効だと考えます。どの機関にもつながっていない児童生徒はどれくらいいるのでしょうか。ソーシャルワーカーの拡充・配置等、つなぐ取り組みが大事故だと考えますが、県の考えをお聞かせください。



**答** 平成30年度に90日以上欠席し、教員以外にどの相談機関ともつながっていない児童生徒は不登校全体の14.4%です。そこで、本年度から新たにスクールソーシャルワーカー等による訪問型支援をはじめました。児童生徒の状況や希望する支援内容の把握、専門的な相談などを行い、社会とのつながりをもてるようにしていくことを目指しています。

### その他の質問事項

○ヤングケアラーへの対応について

○移住の促進について



▲一般質問 (中瀬古初美 議員)

### コロナショックによる企業等における採用減について

小林 正人 議員  
(自由民主党県議団)  
鈴鹿市選出



**問** 新型コロナウイルス感染症拡大により国内外の経済活動は制限され、景気の先行きに不透明感が漂う中、日本の企業も採用抑制の動きを見せ始めています。そこで、コロナショックにより就職面で何らかの影響を受けた、あるいは今後影響が想定される方々や、企業側への支援が必要だと思えますが、県はどのように支援を行っているのかをお聞かせください。

**答** 今年はオンライン企業説明会の開催のほか、オンライン面接に不慣れな若者やオンライン採用を導入する企業への支援、企業の労働力需給ミスマッチを解消するための企業間マッチングなどを実施しました。引き続き、学生と企業との交流機会の確保に努めるとともに、企業に必要な支援や情報が届くよう関係機関と連携し取り組んでいきます。



### その他の質問事項

○理学療法士のさらなる活用について

○介護現場におけるロボット・AIの活用について



▲一般質問 (小林正人 議員)

### 新型コロナウイルスに関する人権侵害を許さない知事の思いは

藤根 正典 議員  
(新政みえ)  
熊野市・南牟婁郡選出



**問** 国の「新型コロナウイルス感染症対策分科会」において、「偏見・差別とプライバイシーに関するワーキンググループ」が設置され、知事が全国知事会を代表してメンバーに就任しています。今回の新型コロナウイルス感染症による人権侵害、誹謗・中傷を許さない強い思いと、問題の解決に向けた方向性について、知事の考えをお聞かせください。



**答** 差別・偏見が社会の分断や軋轢を生まないよう、一人ひとりを大切にし、お互いを思いやる社会の実現に取り組んでいきたいと考えています。このような思いの下、新たに「三重県感染症対策条例(仮称)」を制定し、差別を無くしていくための取り組みを具体的に掲げるとともに、人権教育・啓発活動を積極的に展開してまいります。

### その他の質問事項

○オンライン学習の推進について

○紀宝町浅里地区の地すべり対策について



▲一般質問 (藤根正典 議員)

### 津北部地域海岸の今後の整備について

前野 和美 議員  
(自由民主党県議団)  
津市選出



**問** 津北部地域の上野地区海岸整備は令和元年度に個別補助事業化されるなど、今後の事業進捗に大きな期待が寄せられています。しかし、千里地区海岸と上野地区海岸の間にある「マリーナ河芸」の背後地については、整備事業の対象外になっていることから、津波や高潮が発生した場合、千里地区への甚大な被害が想定されます。そこで、県の今後の取組方針をお聞かせください。

**答** 県が所管する千里海岸、白塚地区海岸の整備と併せて「マリーナ河芸」の海側の防潮堤についても一連の堤防として高上げする必要があると考えています。背後地への影響についてはシミュレーション等の調査を実施し、そのうえで必要な対策を検討してまいります。



整備が進む上野・白塚地区海岸の様子

### その他の質問事項

○交通安全緊急対策に係る車両安全対策について

○農村や地域が抱える課題について



▲一般質問 (前野和美 議員)



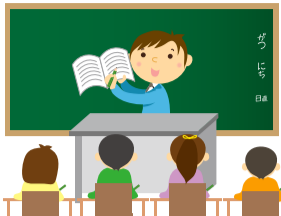
### 「学校の新しい生活様式」に対応できる学級編制基準の制定を

杉本 熊野 議員  
(新政みえ / 津市選出)



**問** ウイズコロナ下において、現在の学級編制基準では、文部科学省が示した「衛生管理マニュアル」学校の新しい生活様式「バージョン4」に基づき、三重の子どもの教育の保障と安全安心の確保を両立していくことは困難です。国に先駆けて県独自の学級編制基準を制定し、教職員定数を確保していくことが急務だと考えますがいかがでしょうか。

**答** 子どもたちが安全で安心して学べる環境を確保するためにも、少人数学級の推進は重要な事項です。そのため、本県が先行して実施してきた少人数学級の効果を、国にしっかりと説明し、学級編制基準を引き下げ来年度から少人数学級を計画的に進めるよう要望するとともに、本県としての対応についても検討していきます。



**その他の質問事項**  
○環境への負荷が少ない持続可能な三重へ  
○ひきこもり支援のこれから



▲一般質問 (杉本熊野 議員)

### 「GIGAスクール構想」の実現について

中森 博文 議員  
(自由民主党県議団 / 名張市選出)



**問** 国において、新型コロナウイルス感染症に対応するため、「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」として補正予算が措置されました。これを受け、本県の県立高等学校におけるICT環境の整備状況や、生徒が家庭でオンライン学習を行うための環境整備の状況について伺います。また、ICTを効果的に活用するための民間人材等の活用方策についてもお聞かせください。



**答** 県教育委員会では、すべての県立高等学校で本年度中にICT環境の整備を行う予定です。また、家庭でのオンライン教育の実施にあたっては、すべての生徒が参加できる環境を整備しました。民間人材の活用については、県内ICT関連企業の技術者をICT支援員として、各学校に派遣し、教材作成などの支援を進めています。

**その他の質問事項**  
○コロナ禍での「三重とわか国体」「三重とわか大会」の競技会運営にか  
○伊賀地域の幹線道路の整備促進につ



▲一般質問 (中森博文 議員)

### 戦後75年以降の平和教育を問う

中村 進一 議員  
(新政みえ / 伊勢市選出)



**問** 戦後75年がたち、多くの人々から戦争の記憶がなくなり、悲惨な体験をした人たちも少なくなっています。そのような状況の中、子どもたちに教える立場にある教員、そして教育委員会の姿勢というものがとても大事であると思います。戦争について次の世代に伝えていく平和教育への思い、そして今どのように平和教育が行われているのか、教育長の考えをお聞かせください。

**答** 戦争の悲惨さに学び、平和の大切さ、命の尊さを考える機会を通して、国際社会の平和と発展のために行動できる子どもたちを育んでいくことは、教育の重要な役割です。県教育委員会では、引き続き、各学校において、平和の大切さや命の尊さについて思いを深める取り組みを、市町教育委員会と連携して進めていきます。



**その他の質問事項**  
○コロナ禍における観光産業をどう守るのか  
○コロナ禍と医療体制強化



▲一般質問 (中村進一 議員)

## 用語解説

### 1 重層的支援体制

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、「相談支援」「参加支援」「地域づくり」に向けた支援を一体的に行う体制のことをいいます。

### 2 ヤングケアラー

厚生労働省が実施した実態調査では、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家族の介護や世話をする中で、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子どものことです。

### 3 GIGAスクール構想

Global and Innovation Gateway for Allの略で、2019年12月に文部科学省が発表した構想で、1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現しようとするものです。

## 意見書を国へ提出

9月定例会月会議において可決された「防災、減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書」を、10月1日に議長が関係機関に対して提出し、要望の実現を働きかけました。



意見書提出の様子

## 2020年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」投票開始のお知らせ

県議会では、12月末に1年間の主な活動を振り返る「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」を発表します。

候補の中から、これは！と思うものにぜひ投票をお願いします。県議会ホームページから投票できます。投票期間は令和2年11月27日(金)～12月10日(木)です。選定結果は、議長定例記者会見で発表予定です。

## 三重県産材利用促進に関する条例検討会を開催

三重県議会では、三重県産材利用促進に関する条例検討会を設置し、条例の制定に向けた調査および検討を行っています。

9月17日の第11回検討会では、Web会議システムを利用して、先進条例制定県である兵庫県からの聴き取り調査を実施しました。10月6日の第12回検討会および10月15日の第13回検討会では、条例の理念的な部分について「正副座長たき台」をもとに協議を行いました。



Web会議システムを利用した聴き取り調査の様子

## 選挙区及び定数に関する在り方調査会を開催

大学教授など外部の有識者8名を委員とした「選挙区及び定数に関する在り方調査会」では、一人1議区・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」について令和元年10月から10回の会議と2回の現地調査を通じて調査を行ってきました。



議長から報告書を受け取る議長の様

※調査会の各回の会議録、概要および資料並びに報告書等は、県議会ホームページでご覧いただけます。

## 三重県議会定例会今後の日程(予定)

令和2年12月から令和3年2月までの日程(予定)は次のとおりです。

- 12月2日、4日 本会議(一般質問)
- 7日、8日 予算決算常任委員会
- 9日～11日、14日 各常任委員会及び分科会
- 17日 予算決算常任委員会 代表者会議
- 18日 議会運営委員会
- 21日 本会議(採決・閉会)
- 1月15日 本会議(開会)
- 2月3日 代表者会議
- 10日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会
- 17日 本会議(議案上程)
- 18日 議案聴取会
- 25日 本会議(質疑)
- 26日 本会議(代表質問)

※新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止のため、議事堂での傍聴に代えて、極力インターネット中継等での視聴をお願いいたします。議事堂で傍聴される場合には、マスクの着用、間隔を空けての着席についてご協力をお願いいたします。

※この日程は、令和2年11月5日現在の予定です。最新の情報は、議会ホームページ内「議会の日程」でご確認ください。

## 議員の辞職等について

桑名市・桑名郡選出の倉本崇弘議員から議員辞職願が提出され、10月19日の本会議で辞職が許可されました。

これに伴い、倉本崇弘議員に代わり、医療保健子ども福祉病院常任委員会の委員長に奥野英介議員が就任しました。

なお、公職選挙法の規定により、今回、補欠選挙は行われません。